

地域住民による自主的なまちづくり等について

令和7年11月21日の会議で、いただいたご意見の多い順に取り組む内容を検討していきたいと思います。

今回の会議では、次回の中間報告に向けてのまとめとなりますので、今後、地域及び市民センターが取り組むことについて、下記の『令和6年度に取りまとめたスローガン』を踏まえ、ご意見を集約していただきます。

令和6年度に取りまとめたスローガン

豊春地域のみんなが協力し、
地域コミュニティの活性化を図り、顔の見える関係を築こう
地域コミュニティの拠点として、豊春市民センターを活用しよう

1 防災に関する取組

《課題》

- ・ 防災に関する意識が低い
- ・ 被災時における地域のつながりや助け合いの構築
- ・ 被災時における役割分担（自助、共助、公助）
- ・ 被災時における避難所運営

《現在の防災・災害対策》

- ・ 指定避難所の指定（公助）
- ・ 自主防災組織の設立（共助）
⇒ 要配慮者の所在確認等、地域内の災害危険等の把握、防災資機材等の整備
- ・ 春日部市災害ハザードマップの配布
- ・ 災害時の医療救護所の設置

《今後取組が必要なこと》

- ・ 被災時における自助の取組を認識してもらい、多くの家庭での実施
- ・ 保護者がいない時に、発災した場合の対応
- ・ 市民センターを拠点とした、地域（自治会、学校）との連携
- ・ 住民が安心して避難できる、システムの構築と周知

2 地域の絆に関する取組

《課題》

- ・多世代との交流の場（世代間のつながりを育む）

《現在の地域の絆対策》

- ・豊春市民センター及び豊春第二公民館でのサークル活動
- ・体育祭及び文化祭の開催

《今後取組が必要なこと》

- ・こどもを中心としたイベントの開催
- ・地域住民がつどうイベントの開催

3 防犯に関する取組

《課題》

- ・防犯に関する意識は高まってきているが、まだまだ意識が低い
- ・春日部市内での窃盗による被害が多い
- ・春日部市内での特殊詐欺等による被害が多い

《現在の防犯対策》

- ・安心安全メールでの周知
- ・街頭防犯カメラの設置（市内 113 台の内、豊春駅周辺 3 台、ユリノキ通り 2 台）
- ・振り込め詐欺等対策機器購入費補助金（期間限定）
- ・家庭用防犯カメラの設置補助金（期間限定）

《今後取組が必要なこと》

- ・不審な電話がかかってきた時の対応
- ・身近で相談できる場所

4 地域コミュニティに関する取組

《課題》

- ・自治会活動に関心のある方が少なく、高齢で人材もいない
- ・就労している人が多く、日中留守宅が多く付き合いも少ない
- ・市民がまちづくりの主体という意識改革
- ・空き家も多くなってきている

《現在の地域コミュニティ対策》

- ・『広報かすかべ』及び『公民館だより』の発行
- ・豊春市民センター及び豊春第二公民館の利用促進
- ・市民活動センターの利用促進（ふれあいキューブ）
- ・かすかべ自治会カードの配布
- ・ボランティア保険の加入
- ・安心安全メールやSNSでの情報発信

《今後取組が必要なこと》

- ・地域が協力してお互い助け合う組織づくり
- ・世代間による情報格差の解消